

令和5年6月

各中学校長様
各中学校音楽科教員様

全日本音楽教育研究会中学校部会
部会長 荒川徳子
(府中市立府中第七中学校長)

**音楽科授業での「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価規準と指導に関する調査
～「粘り強く学習に取り組もうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」に着目して～**

梅雨の候、皆様方に於かれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記の通り調査を実施いたします。大変お忙しい中とは存じますが、何卒ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

記

- 1 目的 令和3年度に中学校において新しい学習指導要領が全面実施となった。新たに3つの観点が示され、各支部で研究が進んでいるところである。しかし、そのうち「主体的に学習に取り組む態度」に関して「粘り強く学習に取り組もうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」の評価規準をどのように設定し、そのための指導をどのようにしたらよいかについての戸惑いの声も多く聞かれる。こうした状況から、このことについて全国での事例を集約する調査を行いたいと考えた。あくまで現時点での事例を集め各支部での研究に資することが目的であるので、その回答内容について全日中音研・調査研究部が注釈を加えたり論評を加えたりすることはしない。
- 2 対象 全国公立中学校音楽科教員
- 3 調査概要 調査対象者がインターネットで全日本音楽教育研究会中学校部会のホームページにアクセスし、実践内容を記述する。
- 4 調査期間 令和5年7月1日（土）から8月31日（木）まで
- 5 方法
(ア) 全日本音楽教育研究会中学校部会のホームページにアクセスする。
アクセス URL <https://zennichionken-jhs.jp>
又は 全日本音楽教育研究会中学校部会 で検索

(イ)『音楽科授業での「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価規準と指導に関する調査』
のバナーをクリックする。

(ウ) パスワードを入力する。

(エ) 都道府県を選択する。

(オ) 調査内容

○『任意の授業で設定した「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準とその育成のために実際に行
った具体的な指導についてご回答ください』

回答事項

- ① 学年 ② 領域・分野・時数
- ③ 題材名と使用した教材
- ④ その題材で設定した「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準
- ⑤ 上記④を育成するためにどのような「指導」をしたか

<回答例>

- ① 第2学年 ② 器楽（4時間扱い）
- ③ 楽器の音色の違いを感じ取り、三味線の特徴を理解して演奏しよう・長唄「鳥羽絵」
- ④ 三味線の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的
に器楽の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。
- ⑤ 第1時：実際に音を出して試すなどして、三味線の音色、構造や奏法を知るとともに、体験を
しながら関心をもたせる。
第2時：長唄「鳥羽絵」の一節を演奏するために必要な奏法を、他者に助言したり他者からの
助言を参考にしたりしながら身に付けさせる。
第3時：長唄にふさわしい器楽表現にしようと、グループで話し合わせる。
第4時：自分の演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりさせる。
全時 ：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 音楽】第3編事例2参照

6 その他

(ア) 調査の回答内容に個人情報等が含まれないようご配慮ください。

(イ) 調査回答の内容については、各校の管理職より許諾を得てください。

(ウ) 調査集計結果は、本会ホームページ上で公開する予定ですが、その際解答毎の都道府県名も公表い
たします。

(エ) パスワードは第三者に漏れないよう厳重に管理してください。

(オ) 本調査にかかわるお問い合わせは、下記担当までお願いいたします。

[担当] 全日本音楽教育研究会中学校部会
 調査研究部長 高山 俊 哉